

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

3月定例会

3月12日(木)午後6時より、川崎商工会議所会議室4にて、会員11名、オブザーバー1名、見学者2名の参加を得て開催した。

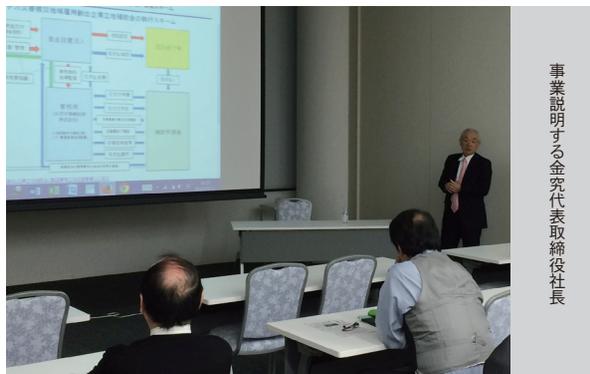
会員企業である、山勝電子工業株式会社 代表取締役社長 金究武正氏から「自社の研究開発センター(宮城県名取市)設立」、G Leapコンサルティング株式会社 DLSダイヤモンドランゲージスクール 校長 中野敬子氏から「本物のコミュニケーション力を最速・最短で身につけるDLSメソッド」をテーマに紹介がされた。

金究代表取締役社長からは、取引先の地域・被災地への協力・補助金の活用などの説明がされた。

次に、中野校長からは、真のコミュニケーション力・オープンで活気ある空間の提供・受講者が主役の幅広いニーズに応じた仕組みなどの説明がされた。

会員企業の社業紹介により、相互理解を深める貴重な機会となった。

その後、会場を移して懇親会を行い、盛会裏のうちに終了した。



事業説明する金究代表取締役社長



事業説明する中野校長

3月分科会

3月4日(水)午後6時30分より、高津市民館第1会議室にて、会員8名、学生5名の参加を得て、開催した。

公益財団法人川崎市産業振興財団 酒井賢二氏を招き、「近年の補助金」をテーマに講演が進められた。

まず、補助金数の増加傾向と対象業種の拡大について説明がされた。

次に、(初回は)申請や報告書類で困惑するかもしれないが、以前に比べて利用しやすくなっており、川崎市産業振興財団では作成などのサポートをしていると述べられた。

ものづくり補助金を例に、各項目の論点を整理しながら、ストーリー展開していく重要性を教わった。

それには、見出しづくりはもとより、専門知識のない人にも伝えるポイント(開発項目では、箇条書き・図・写真など)があると学んだ。

そして最後に、今年募集の補助金について紹介がされた。

懇親会では、川崎市内で実際に取り組んでいる事例などの話で、大いに盛り上がった。

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191